

2026 年9月 1 日

株式会社PALTAC
株式会社あらた

PALTACとあらた、共同配送の取り組みを関西エリアへ拡大 ～西関東エリアでの成果を踏まえ、持続可能な流通インフラの共創を加速～

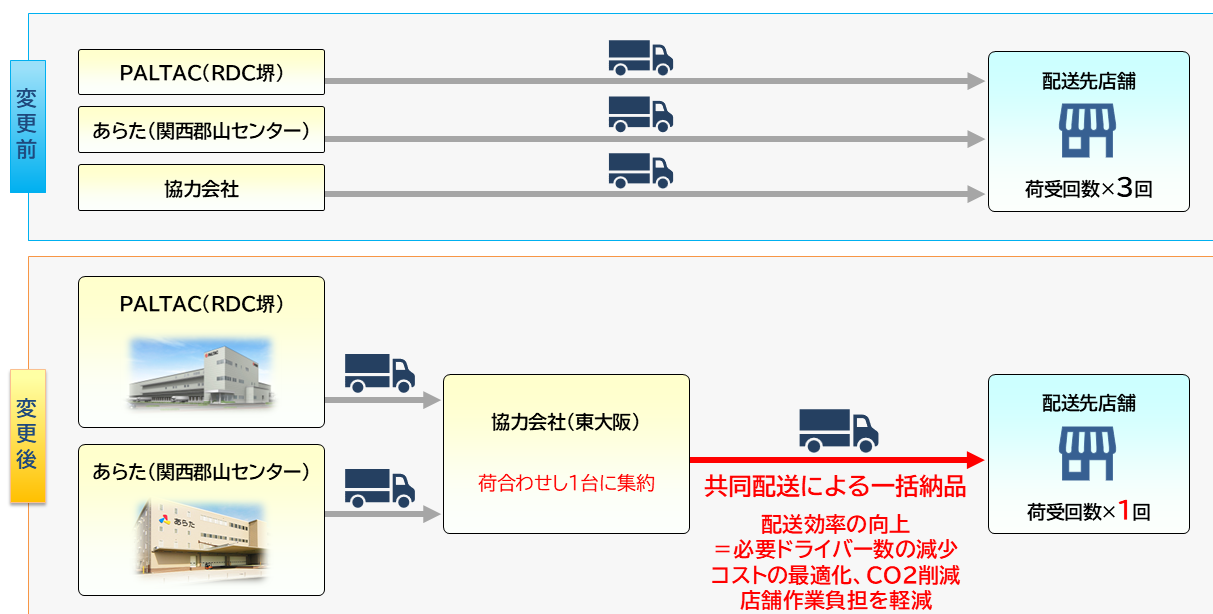
株式会社メディopalホールディングス(本社:東京都中央区、代表取締役社長 渡辺 秀一)の連結子会社である株式会社PALTAC(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長 吉田拓也、以下PALTAC)ならびに、株式会社あらた(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 東風谷誠一、以下あらた)は、持続可能な流通インフラの「共創」を目指し、西関東エリアにおける共同配送を推進しています。今般、対象エリアを拡大し、新たに関西エリアにおいても共同配送(以下、本取り組み)を開始しますのでお知らせします。

《本取り組みの背景と目的》

PALTAC とあらたは、化粧品・日用品など生活必需品の中間流通を担う中核の企業として、両社合計で年間2兆円を超える商品を取り扱い、それぞれ「暮らしの豊かさ・快適さ」や「社会への貢献」を根幹とする企業理念に基づき、全国規模の流通インフラを構築・運営しています。

近年、物流業界ではドライバー不足や労働人口減少を背景に物流効率化の重要性が高まっており、荷主企業においても企業の枠を超えた連携による取り組みが求められています。PALTACとあらたはこうした課題認識を共有し、2025年7月から西関東エリアで共同配送を開始し、対象店舗を拡大しながら取り組みを推進しています。この取り組みのなかで、物流効率化や配送先店舗からの高い評価を得るなど一定の成果が確認できたことから、その成果を踏まえ、新たに関西エリアでの共同配送を開始することとしました。

(本取り組みのスキーム図)



《本取り組みのスキームと効果》

本取り組みでは、PALTACとあらたの商品を、協力会社を通じて荷合わせし、共同で店舗配送を実施します。従来は各社がそれぞれ配送を行っていましたが、商品をまとめて一括配送することで、トラック台数の集約及び物流効率の向上を図ります。

本取り組みに期待される効果は以下の通りです。

- ドライバー不足への対応:トラック台数の削減による必要人員の減少
- 物流コストの最適化:配送効率の向上と物流資源の有効活用
- 環境負荷の軽減:走行距離の最適化により、CO2排出量を削減
- 店舗オペレーションの効率化:配送先店舗の荷受回数を削減し、店舗作業負担の軽減に寄与

《今後の展望》

PALTACとあらたは、本取り組みを通じて得られた知見を活用し、共同配送エリアの拡大など、さらなる物流効率化に取り組んでまいります。両社は、生活者の暮らしを支える社会インフラを担う企業として、物流を取り巻く社会課題に真摯に向き合い、企業の枠を超えた協働を推進してまいります。

今後も、持続可能な流通インフラの構築と生活必需品の安定供給を通じて、豊かで快適な社会の実現に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

《PALTAC》

物 流 本 部・八木 (TEL 06-4793-1075)

経営企画本部・嶋田 (TEL 06-4793-1090)

《あらた》

コーポレートガバナンス統括本部・土谷 (TEL 03-5635-2800)

関西支社 物流統括部・宇越 (TEL 072-362-2000)